

リニア中央新幹線実現に向けて、また一歩前進

JR東海は、6月7日、2027年に開業を目指すリニア中央新幹線の山梨県内の駅候補地を甲府盆地南部と公表しました。これを受け、県はリニア中央新幹線建設促進山梨県期成同盟会の臨時総会を開き、JR東海から駅候補地の提案理由の説明を受けました。今後、県ではJR東海が示した候補地を基に、関係市町村と協議しながら合意形成を図り、リニア中央新幹線のメリットを最大限活用できるように取り組んでいきます。



都留市にある山梨リニア実験線での走行試験

旅行者の観光拠点となる 県立富士北麓駐車場が完成

東富士五湖道路富士吉田IC東隣に、県立富士北麓駐車場が完成しました。この駐車場は、最大1400台の駐車が可能であり、観光案内所なども併設されています。富士スバルラインのマイカー規制期間中は、駐車料金1台1回1000円で24時間開場しています。その他の時期は、無料です。ここは、今後、バスに乗り換えての北麓周遊観光の拠点ともなります。また、この駐車場は、多目的広場としても活用されます。



富士山の裾野に広がる県立富士北麓駐車場

「まもられているからまもりたい」をテーマに、恩賜林御下賜100周年記念事業を実施



緑の少年少女隊と記念植樹をする横内知事

恩賜林御下賜100周年記念植樹・県民緑化まつりを、北杜市で開催しました。横内知事をはじめ、三世代の家族や緑の少年少女隊などが参加し、記念植樹を行うなど、次の100年に向けた森づくり活動がスタートしました。

また、県立博物館ではシンボル展「やまなしの森と人―百年のあゆみ―」を開催しました。来館者は展示品や写真から伝わる恩賜林の歴史などに思いをはせていました。今年秋には、皇族の御臨席を仰ぎながら御下賜100周年を祝う記念大会が開催されます。

富士の国やまなし 緊急観光振興対策を実施



訪れた観光客に“癒し”を与える夏の雄大な富士

東日本大震災以降、観光客の減少により、県内の観光業が大きな打撃を受けたことから、県では、「富士の国やまなし緊急観光振興対策」に取り組んでいます。

国内観光対策としては、「富士の国発 日本元気プロジェクト」(今だから山梨、癒しの旅)をテーマに、新たな誘客イベントの創出や県内での宿泊滞在につながる旅行商品のPRへの支援、首都圏の駅や高速道路SAでの本県の魅力発信などを行っています。

また、インバウンド観光対策としては、「富士の国やまなし観光

県と鉄道総合技術研究所が蓄電技術研究に向けて協定を締結

県と鉄道総合技術研究所は、6月6日、超電導技術等を利用した電力貯蔵技術の研究を推進するための協定を締結しました。

リニアモーターカーの技術開発や超電導研究を行っている鉄道総合技術研究所と相互に連携することにより、太陽光発電などの再生可能エネルギーの普及に向け、必要となる蓄電技術の開発が期待できます。

今後、県では、有識者による委員会を設置し、研究の推進に向けた基本計画を策定していきます。



協定書にサインをし、握手をする横内知事(右)と垂水理事長(左)

ネット」に特設ブログを開設し、県内在住の外国人たちが、山梨の「安全・安心」等を海外に向けて発信しています。ここでは、英語・中国語・韓国語などの4カ国語で、日常生活や近隣の自然、観光地を訪問しての感想など、「山梨の今」を紹介しています。この他にも、日本の旅行商品を掲載している台湾や香港の旅行雑誌に、山梨が安全であることのメッセージや多彩な魅力にあふれた山梨の観光情報などを掲載しています。

県政情報をコンパクトに紹介!!

県政だより「ふれあい」月刊号は、毎月1日(原則)に新聞掲載しています。

掲載新聞はこちら

- 山梨日日新聞
- 読売新聞
- 朝日新聞
- 毎日新聞
- 産経新聞

ここから下の段は広告です。広告の内容について詳しくは、広告主にお問い合わせください。



ここから下の段は広告です。広告の内容について詳しくは、広告主にお問い合わせください。

